

令和4年度 第4回みやま市教育委員会定例会会議録

◆召集日時 令和4年7月15日 午前10時10分

◆召集場所 みやま市役所山川支所 2階 大会議室

1. 出席教育長・教育委員（5名）

- ・教育長 待鳥 博人
- ・委員 井上 正明
- ・委員 樺島 靖子
- ・委員 宮本 篤
- ・委員 北原 八州子

2. 欠席委員（0名）

3. 事務局出席者（12名）

- ・教育部長 藤吉 裕治
- ・教育総務課長 堤 則勝
- ・学校教育課長 北嶋 淳一郎
- ・指導室長 上田 理彰
- ・社会教育課長 山田 利長
- ・学校教育課長補佐兼学校教育係  
学務担当係長 河野 成嗣
- ・社会教育課長補佐兼社会教育係  
総合市民センター企画・運営担当係長 渡邊 満昭
- ・総務担当係長 荒木 洋子
- ・学校再編推進担当係長 中島 豊晴
- ・学校給食担当 山田 努
- ・指導室主任指導主事 松藤 桂輔
- ・教育研究所長 藤岡 育代

4. 傍聴人

- ・0名

5. 議事日程

- (1) 会期の決定について
- (2) 会議録作成者の指名について
- (3) 会議録署名委員の指名について
- (4) 協議事項について ○みやま市民生委員推薦会委員の推薦について

- (5) 報告事項
- (6) 次回教育委員会について

【午前10時10分 開会】

【教育長】 新型コロナウイルス感染症は7月に入り陽性者数が急増し、第7波が到来したと言われている。福岡コロナ警報も出された。10代、10歳未満の幼稚園児から中学生の陽性者が急増している。この年代はワクチン接種も他の年代と比べると低い現状があり、更なる拡大も今後予想される。他市町も急増しており、3連休の動向に注視したい。

また、学校では熱中症予防の観点から、気温が異常に高温となり、エアコンでの冷却が追い付かないことから、換気が十分でない点が危惧される。換気には十分配慮し、三密を避け、マスクをつけ、手指消毒などこれまでの感染防止対策を徹底する必要があると学校に指導した。

次に、不登校児童生徒が小中学生共に増加している。新型コロナウイルス感染拡大と大きな関連があると捉えている。感染拡大により、子どもの「学校を休むこと」についてのハードルが低くなっている。さらに、教育活動の制限などにより、心が不安定になっている子どもが増えている。オンライン授業の実施準備を指導している。

3つ目は、2学期制の検討である。児童生徒の学びの継続や授業時数確保などの面から、次年度から2学期制へ移行する検討を始めていく。小中学校の校長会からも要望が出ている。秋頃の定例教育委員会に議題として提案し、ご承認を願いたいと考えている。

4つ目は、教職員の不祥事防止である。飲酒運転、体罰、ハラスメント、情報漏洩などの防止について、各学校では研修会などを開催して防止策を共通理解されているが、今後もしっかり取り組むよう各学校に指導している。

他にも、学力向上、いじめの撲滅、教職員の人材確保、危機管理、ICTの推進など課題は山積している。課題の解決へ向けて、教育委員会では学校としっかり連携し、解決に取り組んでいきたい。

ただ今から、令和4年度第4回みやま市教育委員会定例会を開会する。

○日程第1 第4回みやま市教育委員会定例会の会期は、令和4年7月15日の1日間とする。

・・・全員同意

○日程第2 会議録作成者は、総務担当係長 荒木 洋子とする。

・・・全員同意

○日程第3 会議録署名委員の指名については、教育長と宮本篤 委員とする。

・・・全員同意

○日程第4 **協議事項**

■ **みやま市民生委員推薦会委員の推薦について**

- 【教育長】 ・引き続き井上委員をお願いします。  
【井上委員】 ・了解しました。

○日程第5 **報告事項**

■ **教育部長**

- 【教育部長】 ・定例第3回市議会日程について（会期：9/2～9/16） 資料P1  
・臨時議会について（7/29）  
新型コロナ地方創生臨時交付金を財源とした補正予算についての審議。教育部では子どもを含めた市民の健康や教育関係の整備に向けて予算要求する予定である。

■ **教育総務課**

- 【教育総務課長】 ・令和4年度要保護、準要保護、特別支援教育就学奨励費認定者数などについて 資料P2～P3  
・臨時議会での補正予算の要求について  
学校施設のトイレの様式化工事、エアコンの整備工事、雨漏りの改修工事の予算を要求している。

【学校再編担当係長】

- ・学校再編第4グループについて 別紙資料  
○通学安全部会（7/7）  
緩和措置が必要な地域の停留所として、当初、南永治公民館の利用を予定していたが、地元の理解を得ることができなかったこともあり、代替地を再検討し、有明海沿岸道路の黒崎インターチェンジ出口付近にある広場を停留所として選定したところである。土地の管理者であるみやま市の利用許可についても確認がとれたので、昭和開などを対象とした緩和措置のバス停に決定した。  
想定通学路やスクールバスの運行計画、通学路の危険箇所点検の結果を取りまとめた通学対策に関する答申書案について協議を行った。スクールバス関係については、説明会を開催して欲しいとの声も上がっているため、最終答申を待つことなく先に答申をいただき、教育委員会の決定後に対応していきたいと考えている。

○組織部会（7/14）

現在、高田小学校 PTA の規約や役員選出方法、慶弔規程などについては、各校区の PTA 役員経験者により PTA 設置準備会を立ち上げ協議を進めているところである。今回はその準備会で取りまとめを行った規約、事業計画、予算の内容について組織部会で検討を行った。

- 【教育長】
- ・質問等ありませんか。
- 【宮本委員】
- ・昭和開のバス停について、地元の理解が得られなかったので、市の所有する土地になったと説明されたが、その理由を教えて欲しい。
- 【学校再編担当係長】
- ・場所自体を提供することには問題はなかったが、バス停を置くのであれば、地元の南永治の子どもを乗せていただきたいということが条件となっていた。再度、統合協議会で検討したが、バス停の設置に伴って近隣の子どもを乗せていくことになると、本来の趣旨が変わり、原則が成り立たなくなると判断して、停留所の安全性などを加味して、今回ご提案している場所となった。
- 【宮本委員】
- ・今回のバス停も含めて人が集まって待つわけだが、大雨の時など何か対策があるのか。どのようなバス停になるのか。
- 【学校再編担当係長】
- ・基本的には各学校がバス停となるので、建物の中に入ることは難しいが、建物の軒などを利用して雨風をしのいでいただけたらと思う。道路沿いで待つわけではなく学校を利用するので、待機中の安全は確保される。また、各3校のバス停には車庫を置く予定となっている。朝、ドライバーが点検を含め早めに来るので、登校してくる児童の見守りを行う。運行が終わりバス停となる各学校へ戻った際には、万一乗り遅れている児童がいた場合の発見等もできるということで、安全対策も含め考えている。
- 【北原委員】
- ・5人の児童が待つバス停の地面は何も整備されずにそのままなのか。また、バスは待っている形なのか。それとも、ほかのコースを回ってバスが来るのか。その場合、雨の時に心配するが大丈夫なのか。
- 【学校再編担当係長】
- ・桜舞館小や瀬高小でバスを運行しているが、バス停に雨除けなどは設置していない。そういった部分も含めて、適した場所を選んできたところである。今回のバス停の予定地は、雨除けはないが簡易舗装はされている。地域の方から構造物を置きたいというご要望があれば、管理者であるみやま市の建設課と協議が必要となるが、現状このままと考えている。

## ■ 学校教育課

- 【学校教育課長】
- ・新型コロナウイルス感染症の状況について
  - ・臨時議会の補正予算の内容について
    - ・スクールサポートスタッフの増員の人件費と晴雨兼用の傘の購入を予定している。
      - ・スクールサポートスタッフについては、感染の拡大に伴ってなお一層の感染対策を行うために、感染が広がりやすい学校や広がった学校、大規模校を中心に、配置を考えており、約7名分の増員の人件費を予定している。
      - ・晴雨兼用の傘は、コロナ対策と熱中症対策も含めて、傘を差すことでお互いの距離感を保ち、マスクを外して、安全に校外学習や体育の見学、登下校時の感染と熱中症対策を図るものである。約1学年分の傘を学校に常備して、様々な活動で使用していただくために購入を予定している。
- 【学校給食担当】
- ・高田小学校の開校に伴う給食センターの整備事業について
    - ・大きく4つの機械を入れ替える予定である。まず、児童生徒の食数が増えること及びスペースが限られていることから、立体炊飯器4台を導入させていただきたい。次に、回転窯と食器洗浄機について、20年経過しており故障などが出ていること食数が増えることに伴い、新しく購入するものである。最後に、主に和え物の調理に使用するスチームコンベクションオーブンを設置する予定である。
    - ・食器についても変わる予定である。現在、磁器食器を使っているが、食数が増えることに伴い保管スペースの節約のために軽いプラスチックの食器を導入させていただく。強度や安全性を保障されたものを使用していく。軽くなるので、労働負担の軽減も実現できるかと思う。磁器食器は割れる不安があるので、そのことから変更を考えている。
- 【教育長】
- ・質疑等ありませんか。
- 【宮本委員】
- ・学校にタブレットが導入されて1年半ぐらい経つが、学級閉鎖が頻繁におこり、これからもこの流れが続くかもしれない。このような時にタブレットを活用した方がいいと思うが、各学校ではどれくらい浸透してきているのか。現在の活用状況を知りたい。
- 【指導室長】
- ・先日、活用状況の調査を行った。詳しい結果は手元にないが、各学校では授業での活用を中心として行うようにしている。まず、ロイロノートというソフトを使って、自分の考えを書いて先生に送って、それを全員で共有して話を進めていくような形をとっている。また、週末は持ち帰りをするようにしているので、宿題をその中で行い、それを先生に送っている。学校の中では、朝の健康観察も同時に行っている。

学校と家庭をオンラインでつなぐような授業については、十分ではない状況なので、今後、双方向の授業を行うことができるよう模索している状況である。

【宮本委員】 ・学級閉鎖や休みが増えると、考え過ぎかもしれないが、気が緩んで不登校の原因にもなってくると思う。家にいながらも学習ができればと思うので、ぜひ考えていただきたい。

【指導室長】 ・危惧しているのは、あまりそれをやることで学校に行かなくてもタブレットでできるならいいのではないかと、そういう安易な流れになることを心配している。

【樺島委員】 ・給食センターの整備の件で、揚げ物用のフライヤーは購入されなかったのか。

【学校教育課長】 ・フライヤーについては、瀬高中学校の予備を移設して昨年中に増強したので、改めて購入はしていない。

【樺島委員】 ・食育の面から考えると、プラスチックより磁器の方が良いと栄養教諭から言われなかったか。

【学校教育課長】 ・磁器で食育に資するという部分も当然あるが、安全性や耐久性を考えると、環境ホルモンにも全く影響がないと言われているPEN食器は、ポリエチレンナフタレート製で、大規模な都市部を中心に替わっている流れがある。食育の部分からは陶器の良さもあるが、学校給食の集団を考えると落として割れる事故も発生しており、安全性を優先して効果的と考えている。また、栄養教諭も食器での食育は当然あるが、それ以外にも食育教育を充実しながら進めていきたいと、いろいろ議論していただいたうえで、学校の利用面も含めて今回決定している。

【樺島委員】 ・何種類、購入する予定なのか。

【学校教育課長】 ・どんぶりと平皿の2種類である。

【樺島委員】 ・耐久性は7年ぐらいか。

【学校教育課長】 ・10年使っても大丈夫という事例もあるが、メーカーからは8年程度と言われている。

【樺島委員】 ・今ある磁器の食器はどうするのか。

【学校教育課長】 ・給食センター以外の学校で割れた時の補充などで使っていきたい。

【井上委員】 ・傘は何をするのか。

【学校教育課長】 ・学校の屋外活動のときに日傘として使用して、子ども同士の距離と熱中症対策をとるための道具に使いたいと考えている。

【井上委員】 ・傘をさしながら活動をするのか。

【学校教育課長】 ・実際動いているときは傘をさせないが、見学が必ず何人いる。また、運動が終わって説明に入れば傘をさして、距離をとってマスクを外す

というような指導をしていただき、少しでも熱中症とコロナ対策に資するということを考えている。

【井上委員】 ・個人的には、これは無駄遣いだと思う。教育的な意味もほとんどない。世の中には捨ててある傘がいっぱいある。学校でも、この傘をどうするかと隅の方に置いてあるのが目に見える。暑かったら傘を使っていると伝え、自分達でさせた方がいいと思う。

【学校教育課長】 ・当然、自分の傘を使うのが一番なので、全員分を用意しているわけではない。どうしても持ってこられなかったり、忘れたり、そのような時のためにも、概ね1学年分ということで傘の準備をしている。

【井上委員】 ・テレビで給食時間を問題視している番組があったが、みやま市では小学校中学校でどれくらい使っているのか。

【学校教育課長】 ・準備から片付けまで入れて、概ね45分から50分程度の時間を使っていると思う。そのうち最初の15分が準備、喫食時間が20分から25分、後片付けが5分から10分程度、そういったところが多いと聞いている。午前中に5時間授業を行っている小学校があり、時間がタイトになっているかと心配になり聞いてみたが、今までより準備するスタート時間は遅れているが、特に問題ないと考えている。

【北原委員】 ・給食の時間が短いために、時間内に食べ終わらないから、配膳された後に減らしている映像が流れていた。せっかく給食を作っていたのにフードロスにもつながるので、もう少し時間があれば食べられたのかと、その映像をみていろんなことを考えさせられた。みやま市では、きちんと給食時間をとってあるなら安心である。

【樺島委員】 ・3年前の中学校の学校訪問で、給食時間が短いと聞いたことがある。小学校は時間に余裕があるかもしれないが、中学校はどうか。

【松藤指導主事】 ・小学校の給食時間は45分で中学校は30分である。15分の違いがあるので、中学校に入った1年生は戸惑い、4月5月は特に時間内に食べ終わることができない状況である。先生達が指導したり、子どもと一緒に食べ始めたりすると、それなりに落ち着いてくる。

## ■ 指導室

【指導室長】 ・学校訪問について

水上小学校の学校訪問（6/30）のお礼。

開小学校の学校訪問（7/7）は教育委員会から3名で訪問。

（教育長・指導室長・指導主事）

・サマースクールについて

今年度は7月26、27、28の3日間、山門高校性が実人数として、140名、3日間で延べ358名が参加予定である。

## ■ 社会教育課

【社会教育課長】 ・臨時議会のコロナ対策の補正予算について

図書館のコロナ対策費ということで予算要求している。現在、市立図書館については、椅子を少し減らして密にならないような工夫をしている。また、強制ではないが、極力2時間程度の利用をお願いしている。夏休みに入ると学生さん達の利用も増えてくることもあり、椅子の配置など通常に戻せないかと考えている。そのために、アクリル板の設置や空気清浄機の予算要求をしているところである。

○日程第6 次回教育委員会について

◎ 次回定例会 令和4年8月17日（水）午前10時00分～

【教育長】 これで本日の日程は全て終了しました。

令和4年度第4回みやま市教育委員会定例会を閉会します。

【午前11時15分 閉会】